



「必要を満たす神」

フィリピ4…15～20

牧師 安藤 脩

フィリピの人々はパウロから受けた恵みを忘れず、いつも背後から祈っていました。それだけでなく、贈り物をしてパウロの宣教活動を助けました。15、16節はそのようなフィリピの人々への感謝が溢れています。今日の聖書の箇所を読んで、「情けは他人のためならず」という諺を思い浮かべました。

でも近頃、美しい韻を踏んだ讚美歌の歌詞も、分かり難いからと、平易な言葉に変えています。その中で育った人々には、この諺の表現も難しいのか、意味を取り間違っている人がいるそうです。

「情けを掛けることは、その人のためにならない」と。だから、他人に情けをかけるな。これでは意味を全く逆に理解していることになりす。他人に情けを掛けることは、巡りめぐって、いつか戻ってくる。だから、情けを掛けるよう心

2014年秋号

日本キリスト教団
横浜岡村教会
〒235-0021
横浜市磯子区
岡村 4-25-39
TEL.045(751)3917
牧師
安藤 脩

掛けなさい。」が本意であることは、昔の人なら誰でも知っていたことでしょう。しかし、情けを掛けても、少しも良いことが返って来なければどうでしょう。それどころか、苦しみが返って来たら、でもこれが、この世の現実です。

ペトロたちは病や汚れた霊に悩まされている人々を癒されました。つまり、情けを掛けたのであります。その結果は、捕らえられ、牢獄に繋がれ、鞭打たれるという迫害でありました。(使徒言行録5章) パウロも同じ経験をしています。

人からの見返りを求める人はここで挫折してしまいます。しかし、「贈り物を当てにして言うわけではありません。むしろ、あなたがたの益となる豊かな実を望んでいるのです。」(：17)とパウロは言っています。人から恵みとして返って来なくても、神からの恵みとして返って来るのです。確かに、益となる豊かな実を結ぶのです。これを霊の実と言います。クリスチャンにとって最も願っている、

イエス様に似た愛の心が育っているのです。だから、他者のために祈り、愛を実践したいと思うのです。パウロは、この恵みがフィリピの人々のうちに育っているのを見て喜んでいました。

今日から岡村アシラムのための準備祈祷が始まります。祈祷表を見ても分かるように、クリスチャンの祈りの多くは、他者のための祈りです。9項目有る祈祷の内、8項目が自分以外のためです。そして、自分の為には、主の弟子として何が足りないかを示されるよう、祈り求めることが勧められています。

アシラムのスタートは、「自分はイエス・キリストを信じているが、単なる信者に止まり、真の弟子になっていない」という反省が出発点である」と、クリスチャン・アシラムの創始者・スタンレー・ジョーンズ師は言っています。今日の聖書箇所にも「わたしの神は、御自分の栄光の富に依じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてください。」(：19)と記されています。自分の欠けを知り、必要(ニード)を持ってアシラムに参加しましょう。私たちの神は、その必要を満たしてください。私たちが神は、その必要を満たしてください。私たちが神は、その必要を満たしてください。

証し

主に捉えられ、導かれて



川崎 恩恵

私は、中学2年のクリスマスに受洗しましたが、その後は礼拝には出席するものの、信仰の成長などあり得ないくらいの自分勝手な生き方を、何年も続けていました。

10代の終わり頃、当時の若い人の例にもれず、好きな人が出来まして、結婚したいと願うようになりましてが、相手はノンクリスチャン。教会に誘っても来ず、宗教は弱い人や女性のものだと云ってはばかりません。私は、それでもかまわない、と思うようになりました。

そんな折、ロゴス号という世界を宣教して回っている伝道船が、横浜港に停泊し、近くの教会で、賛美や証しの奉仕をすることになりました。当時、横浜の教会で最高齢だった父が牧会していた岡村に、外国の方々が大勢来ることになりました。教会員も何度かロゴス号での集会に参加し、国は違ってもクリスチャン同士の交流をもちました。

その何回目かの礼拝で、一人の若い女性が証しをしました。その方は、「私と夫の間には、イエス・キリストがいます」とおっしゃられ、私はハッとしました。「私と彼の間にイエス様はいない」と気がきました。

それからの葛藤の日々は、今思い出しても苦しかった、の一言です。昨日は、神様を取る、今日は、いや彼を取る、と時計の振り子のように揺れ続けました。いったいいつまでこれを繰り返すのかと思っていました。段々神様の方に比重が大きくなり、ある時、この結婚はないのだ、と決心することができたのです。あの外国の女の方は、神様が私を捉える為に遣わして下さったのだと、今では思っています。

その後何年かたってから、主人と出会い結婚し、今に至っています。四人の息子が与えられ、神様に守られ、支えられ、導かれて日々を過ごしていることを実感しています。

今も祈りの課題は多く、我が家のことでは、四人の息子の内三人は、受洗はしましたが、二人は教会生活を送っていま

せん。末息子は二十才になりましたが、受洗する気配さえありません。母としては、家族そろって神を信じ、お仕えする一家になりたいと切望しているのですが、親になって初めて両親の気持ちがよく解る、といいます。私も親として我が子のことを祈る時、自分も随分親や周りの人に祈られてきたのだ、と今さらながら思うことです。今度は、私が祈る番、そんな風に思っています。

気を落とさずに

絶えず祈らなければならぬ

ルカ18章1節

(第65回創立記念礼拝での証し)



礼拝後の愛餐



証し

召された者としての喜び

伊藤 得子



献身前の主人は有る企業
のサラリーマンでした。53
歳で神様からの明確なみ言
葉を戴き召命へと導かれ、

定年まで何年もあるのに企業戦士としての働きをいさぎよく退きました。その後献身、日本ホーリネス教団東京聖書学院へ入学、全寮制での学びを始めました。主人の3年間の学びの内、最後の1年間は私もみ言葉と召命を戴き献身、基礎科で学び、神様の憐れみと背後の尊いお祈りに支えられ、共に学院を卒業。1998年4月、主人は大阪・豊中教会へ任命を受けました。その時私共に与えられたコリント人への**第二の手紙4章5節**のみ言葉を握り、伝道牧会がスタートしました。「助け手」としての召命を戴いておりました。が身の引き締まる思いでした。あれから16年・・・このたび伝統ある「岡村アシラム」でのお証を頼まれ、祈り求めました。主人と共に労した体験を通して戴いた数限りないお恵みの一端をお証するように、と神様は祈りに応えて示してくださいました。

豊中教会で25名、辻堂教会で12名の

魂が救われた現場で多くの恵みと祝福を教会員の皆様と共有した「聖霊様の働きによる劇的な魂の救い」の証です。

〇 姉のお父様の救いの場合

〇 姉のお父様にお逢いしたのは70歳の時でした。私共はご両親の救いを願う〇 姉と共に祈っておりました。ある日「お父様が倒れられ緊急入院された」とお聞きして病院へ。お父様は初めての牧師の訪問を真摯に受け止め、ベッドの上に正座され、牧師の祈りに心合わせ、語る福音にも神妙に耳を傾けられた後「先生分かりました、もう結構です。あちらに行つた時、牧師先生に話は聞いたけど断つて来ましたと言いますから」と。それ以上語ることは出来ませんでした。退院前日、ベットから落ちて「くも膜下出血」。即、大きな病院へ緊急搬送・手術。私共が病院へ駆けつけた時は無菌室の集中治療室。体には沢山の管が通された意識不明の重篤。担当医は「非常に危険な容態であり、仮に助かったとしても車イスの生活を余儀なくされる」と。しばらくして面会が許され、時間の許す限り見舞い、枕元で**ヤコブの手紙5章15節**のみ言葉を信じ、ただ祈るしかなく、担当医は「祈って治るなら医者はいらないよ！」と冷やかな言葉を浴びせました。〇 姉

の「お父様が一刻も早く救われて欲しい」という切なる願いに、教会をあげて多くの祈りが積まれました。一進一退を繰り返し、あの担当医が「奇跡だ、Yさんには神様がついてるからな」と認めるほど会話が出来るまでに回復。神様は多くの祈りをよみしてくださり、癒しの御手を伸べ続けて下さったのです。不思議な神のみ業でした。一般病棟に移り訪問を歓迎して下さり、再び福音が語られ、お父様は祈りに合わせ「アーメン」。ハレルヤ！ 聖霊様が働かれお父様は見事に変えられ、イエス様を信じ救われました。退院後、週1回、奥様共々受洗に向けての学びが始まり、**ヨエル書2章32節**のみ言葉を信じ、お二人は晴れて受洗の恵みに与りました。毎週欠かさず礼拝を捧げておられる姿を拝見するたびに、教会員の皆様と共に①祈りは聞かれる。②祈りには力がある。③救いは神からくる。④すべてが聖霊様の働きである。を確信し御名を崇めました。

(第33回岡村アシラムでの証し)



「ペンテコステってなーに？」

牧師・安藤 脩

今年のペンテコステは、礼拝出席者全員で聖霊降臨の聖画を完成させました。聖画を60ピースに切りジクソーパズルにしました。それを各々が正しい場所を探して置いて絵は完成しました。今年選んだ聖画は、「聖霊に献げられた教会」との名を持つ谷山カトリック教会の聖壇の壁に掛けられているタペストリーを用いさせていただきました。これは布絵で、ドイツの修道院で織られたものだそうです。



完成し、玄関ホールに飾られた聖画

私は今年の5月、大学時代の友達と古希の同級会をしました。その時、私が牧師だからということ、友から「ペンテコステって何ですか？」と質問されました。ペンテコステはキリスト教会の重要な祝祭日の一つです。

教会には3つの大きな祭りがあります。クリスマス（イエス様の誕生祭）とイースター（イエス様の復活祭）とペンテコステ（聖霊降臨祭）です。

クリスマスは毎年12月25日と決まっていますが、イースターとペンテコステは毎年、日が変わります。何故そうなるかという、イースターは、春分の日が過ぎて最初の満月になった次の日曜日と決まっているからです。そしてペンテコステはそれから、7週（7×7＝49）過ぎた次の日曜日なので、50日目です。

ペンテコステとはギリシャ語で50番目という意味です。ですから聖書には「五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いてくるような音が天から聞こえ、…炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。すると、一同は聖霊に満たされ、霊が語らせるままに、ほか

の国々の言葉で話しだした。」（使徒言行録二：1〜4）と書かれています。



私のピースはどこに置くの！

イエス様の弟子たちが集まって祈っていると聖霊が降って、弟子たちは色々な国の言葉で「イエス様が救い主である」と語り始めました。そしてペトロは11人と共に立って「あなたがたが十字架につけて殺したイエス様が救い主であること。悔い改め、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。」と説教をしたのです。ペトロの言葉を受け入れ、信じて洗礼を受けた人々が、その日に三千人いました。これが最初のキリスト教会であるエルサレム教会の誕生です。ですから、ペンテコステは教会の誕生日を祝う祭りでもあります。

ペンテコステ合同礼拝

今年度の初めに、今年は大人と子ども
の合同礼拝を大切に行っていきましょ
うとの話し合いが持たれました。ペンテ
コステ合同礼拝は初めての試みでした。子
ども達にとっては礼拝の時間がいつもと
違うので、集まらない子が多く出しま
うのですが、今回は皆で声を掛け合っ
つ、多くの子ども達も礼拝に出る事が出
来、元氣よく讚美を捧げてくれました。
又、この日は「花の日」でもあり、JC
では、鉢花を飾り、礼拝に出られた方々
にプレゼントする事が出来、皆様に喜ば
れました。



子ども達の讚美



ペンテコステクッキー

横浜ろばの店製のクッキーです。可愛
らしいハトの形をしたクッキーで、とて
もおいしかったです。みなで喜びを分か
ち合う事が出来、本当に感謝でした。



ペンテコステ 炎のマーク

藤山 クニエ

6月8日今年度はペンテコステと花の
日が重なりました。大人と子どもの合同
礼拝です。大きな炎マークを講壇の真ん
中に据えました。一人一人胸に御霊の実
である御ことば入り炎のマークを付け礼



拝しました。今まで私が頂いた炎のマ
ークには「愛・喜び・誠実・感謝・忍耐・
希望・寛容・平安・」などがあり、子
ども達が落ちて行ったものも頂いて、柱
に貼って14枚。私は今年度は「感謝」のマ
ークを頂きました。2014年は特別、
主の傾注の年と言われています。すべて
に感謝して歩みたいと思います。「聖書」
を頂いた人は、聖書を読むことに力を、
「赦し」が与えられた人には、それを実
行する愛を。

神様の御顔を求める1年としたい。

第16回春のランチョン 守部氏の講演を聞いて

井上 義勝

守部喜雅氏の軍師黒田官兵衛の話は大変興味深いものでした。465年前、宣教師ザビエルが日本にキリスト教をもたらした時、信長の庇護の下に布教活動が行われ、多くのキリシタン大名が生まれ、官兵衛もその一人であった。戦国武将がキリシタンになったのは何故なのか。乱世にあつて戦いに明け暮れ、魂の癒しと罪の赦しをキリストに求めたのでしょうか。信長の死後、官兵衛は高山右近に導かれキリシタンになり、キリシタンを弾圧した秀吉、家康と仕え戦国の世を見事に生き延びたのでした。

その乱世の時代に生きたキリシタン大名の様相が、イエズス会宣教師ルイス・フロイス著『日本史』には記されている。この日本史には、日本側の資料にない当時の信長や秀吉の実像、官兵衛の洗礼や生き様が克明に、記録されている。これらの話を聞きますと、すべて歴史の事実であることに驚き、天下統一にキリシタン大名軍師官兵衛が大きな役割を果たしたことに、神の導きを覚えます。



守部喜雅氏

日々アシユラムの姿勢で

坂本 浩

第33回岡村アシユラムが7月12・13日に開催されました。巡回宣教師・スタンレージョーンズ師がインドへ遣わされた際、ヒンズー教の方法を取り入れ、中身をキリスト教にしたことがこの運動の始まりだそうです。アシユラムの語源は、サンスクリット語から来ていて、「ア」は「離れる、遠ざかる」、「シユラム」は「厳しい労働」を意味しています。(日本アシユラム五十周年記念誌・神の漁り人より) 日常の生活や労働から離れて、全てをキリストに明け渡し、服従することから始まります。そして、御言への静聴と立証・聖霊の導きと充滿・教会への奉仕と伝道・神の国の体験と献身というアシユラム五大原則に従ってプログラムが進められる集会です。私は過去十数回岡村アシユラムに参加してきましたがこの集会是、それぞれが日頃抱えている課題や願い(ニード)を神や人の前に公にし、互いに祈り合う(一年間)良き交わりの時であるとイメージしていました。したがってあまり深く知ろう、理解しようとしていませんでした。しかし、アシユラム参加者としてこの泉誌の執筆担当

となり、前述の記念誌や資料等に目を通す中で、これまで自分のアシユラムに対する理解と姿勢が如何に乏しかったかに気付かされました。先ず全てを主に明け渡すことができていない自分があり、そんな状態で主に服従できるわけがありません。それでは、どうあるべきなのか。日常の生活において、心を静めて主と相對し、祈り、聖書を読み、御声を聴く時間を確保し、継続することなのではないでしょうか。年に一回のアシユラムですが、日々毎日アシユラムという姿勢が必要なのだと思います。しかし、人は簡単に変わるはずありません。だからこそ、アシユラムのような自己啓発的集会に参加し続けることで、姿勢を身に着け、靈的に成長をして行かなければならないのだと思います。今回の主題は「造り主の姿に倣う」でした。「そんなことは畏れ多くて無理」とつい言ってしまう。でも、イエス様が現してくださったその御姿を信仰生活の雛形として、一足一足近づいて行こうとする姿勢と覚悟が大切ではないかと、今回のアシユラムを通して教えられました。



JC夏季学校報告 安藤 善枝

8月2日(土)〜3日(日) JC夏季学校が、子ども15名、スタッフ9名の参加で、行われました。テーマは「十字架の道」。今年もペープサートに挑戦。多くの人達の協力で、十字架ストーリーを作り上げ、当日は、子ども達に見てもらい、喜んでもらえました。ちよつとぶつつけ番でもありましたが、手作りの良さがふんだんにあったと思います。グループに分かれて、オリジナルテキストで、十字架の学び。楽しいゲームあり、制作あり、で一日があつという間に過ぎて行きました。夕食はみんなでカレーライスを作りました。おいしかった！映画を見た後は花火。さあ、布団を敷いて寝ます。今年は1年生の男子が3人参加。2階の休息室で寝ました。お母さんの心配をよそにあつという間に寝息を立て始めてしまいました。一人一人に小さな成長があつた夏季学校でした。



みんなで作ったペープサート



はなび



制作品を持って、みんなで

子ども達の感想

- ♪じゆうじかのみちのげきがこころにのこつた。
- ♪花火がすごくきれいだつた。
- ♪せいさくが楽しかつた。
- ♪カレー作りのたまねぎを切るのがたのしかつた。
- ♪お祈りグループに分かれたのがよかつた。
- ♪いじめられたけど、なかなかおりできた。
- ♪今よりもつときようかいに来て、イエスさまの事をしんじる。
- ♪にんじんのかわむきがおもしろかつた。
- ♪おとまりがたのしかつた。
- ♪おふるがきもちいいのがわかつた。
- ♪こうさくでシールをはるのがおもしろかつた。

「カレブの会」の交わり会

7月19日(土)に自由参加の交わり会を開催しました。会場は、教会員の堀内兄が経営する「とんかつ・さくらい岡村店」の掘り炬燵式の座敷(堀内兄設計の建屋)に集まり、注文は全員ヘルシーヒレカツ中サイズと図らずも一緒でした。(おいしかつた！)

教会での礼拝・各集会とは雰囲気も違つう中、開催の祈りと牧師によるメッセージをいただき、出席者(8人)によるフリー・トーキングとなりました。出身・信仰歴・赴任歴・家族の救い・現況等あかしと恵みの分かち合いが出来、感謝の二時間でつた。今後もこの趣旨で気軽に参加出来る様願ひ、主の祈りで閉会しました。今回出席出来なかつた方々を含め次回を期待ください。カレブの会の今年度の学びはコリントの信徒への手紙」を12回に分けて毎月行います。資料等興味のある方は連絡頂ければ用意します。(関口)



9~11月 行事予定

9月

- 9日 三教会交流委員会(横浜菊名)
 14日 オープン礼拝(関口勢津子姉)
 14日 敬老祝福式・愛餐会
 15~17日 関東アシラム(箱根)
 19日 日韓合同礼拝(紅葉坂)
 21日 信徒研修会(防災訓練)
 26日 藤山宅祈祷会
 27~28日 安藤師新宿西教会アシラム
 28日 礼拝説教(菊地一男師)

10月

- 5日 世界聖餐日、拡大役員会
 12~13日 青年修養会(清水ヶ丘教会合同)
 (茅ヶ崎恵泉教会)
 15日 三教会統一課題祈祷会
 18~19日 特別伝道集会(島 隆三師)
 31日 藤山宅祈祷会

11月

- 2日 召天者記念礼拝・偲ぶ会
 墓前礼拝
 8日 教会バザー
 9日 子ども祝福式
 11日 三教会交流委員会(横浜岡村)
 23日 収穫感謝日
 28日 藤山宅祈祷会
 30日 アドベントに入る(讚美礼拝)
 30日 ツリー点灯式
 (毎月第1主日 聖餐式、役員会)
 (毎月第4主日 各会の定例会)



JCの窓

(ジュニアチャーチ)

夏季学校のスタッフ
 として学んだこと

石川 新

私はここ数年、夏季学校の製作の時間を担当しています。

今回は、以前実験教室で作った「浮沈子」というペットボトルの中で魚が動くおもちゃを作ることにしました。実は教会で作るよりも先に、このおもちゃの製作は今勤めている小学校の体験入学会というイベントで、来てくれた子どものお土産として取り入れました。私知って

いる浮沈子は、とてもシンプルなものでしたが、そのイベントの担当の先生が底にキレイな石を入れ、水にも食紅で青色をつけ、魚にも色を塗ったり、シールで飾り付けをしていました。これを見て是非教会でも作ろうと思いました。

私は教会で知識が活かされたことに感謝する気持ちとともに、神様はそれをさらに良いものに変える機会を与えてくださり、奉仕させてくださったことにとっても驚きました。

これからも、思いもよらない所に神様に仕えるヒントがあると、日頃から心得え、日々の生活を送りたいと思います。

集会案内

☆ 9月14日(日)

オープン礼拝

証し者・関口勢津子姉

☆ 10月18日(土) ~ 19日(日)

秋の特別伝道集会

講師・島 隆三牧師

ご家族お友達をお誘い下さい

☆ 11月2日(日) 召天者記念礼拝

☆ 11月8日(土) 午前11時より

第9回岡村バザー

献品のご協力をお願い致します

☆ 11月9日(日) こども祝福式

☆ 11月30日(日) ツリー点灯式

編集後記

変化の激しい暑い夏でした。収穫の秋を迎える時季となりました。本誌の編集は、発行約2か月前から総務部会メンバーで記事内容の確認・選択・原稿依頼・校正・最終確認・レイアウトの調整・印刷・製本と多数の手を経て成り立っています。多くのご協力に感謝。(mof)